

2024年度一般社団法人日本私立看護系大学協会重点事業

本協会は今年度で設立48年を迎えます。1976年に11校の私立看護系大学・短期大学により設立され、2009年に法人化、2018年度より区別けによる役員選挙制度を開始いたしました。その間に会員校は増加しつづけており、2023年度に会員数に見合う活動について検討し、委員会活動のブラッシュアップや区別けの見直しを行いました。2024年度の選挙は、新しい区別けでの選挙となります。2024年度の会員校数は、4年制大学200校（課程単位）、短期大学9校となりました。50周年を目前にしておりますが、私立看護系大学を取り巻く状況は、厳しい状況にあります。18歳人口の減少や理系女子増に向けた他分野の動きから、看護系大学への入学者減少が危惧され、看護学の魅力発信のあり方について検討が必要となっています。

2024年度の重点事業は、2023年度に検討したことを踏まえ、私立看護系大学の発展を支えるための活動の充実化を目指します。

1. 教職員を対象にした研修会の充実

教職員の資質向上を目的とした多様な研修会を開催いたします。開催方法は、対面開催ライブ配信＋オンデマンド配信とし、開催目的に合わせた有効な方法で開催方法を設定いたします。

2. 地区ごとの会員校相互の情報交換の促進など地区活動の開始

新しい区別けによる会員校の情報交換や連携・協働が進められるよう年1回以上の地区連絡会議と地区活動推進に向けた事業への助成を継続します。

3. 将来を見据えた本協会の組織・活動のあり方の検討

- 1) ブラッシュアップした研修内容の効果を検討し、次の活動へ繋がります。
- 2) 会員である学部及び学科の活動支援に資金を還元する事業を行い、成果を確認いたします。
- 3) 私立看護系大学の発展に必要な情報収集や分析を行い、必要な情報発信を行う部門（私立看護系大学将来構想研究機構：仮称）の設置を検討します。

4. 日本私立看護系大学協会として看護系大学への進学者増加に向けた広報活動に取り組む。

18歳人口の減少や他の専門領域への女子学生の流入を見据え、看護大学に興味を持つよう中学生・高校生を取り込み、会員校に繋げる広報活動に取り組みます。